

発行所：石川自治センター

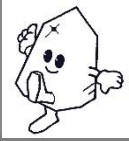
発行者：石川自治センター長 矢内陽介

〒 963 - 7859

石川町字南町 36

Tel 26-1554 (FAX も同)

石川自治センター だより



石川地区自治協議会視察研修へ



石川町を代表して挨拶松山委員長

23日(金)石川地区自治協議会設立準備委員会(松山秀隆会長)は、山形県川西町役場へ視察研修を行った。委員会14名・町役場3名・自治センター2名が参加した。

川西町は、山形県南部置賜地域にあり、7地区で構成されています。その中、小松地区地域振興協議会会長加藤健吉氏より、地区公民館の返還と交流センター化(設立)までの経緯について述べた。昭和30年1町5カ村合併により川西町が誕生。昭和44年6月小松地区社会教育振興会を設置、事業活動開始、その後、社会福祉委員会、

防犯協会他、平成元年6月自治会長会、11年6月環境促進協議会を設置事業活動した。13年まで地区公民館として町職員を配置して活動して来た。規制緩和、他に、14年公設民営化へ、16年全国で16番目のまちづくり基本条例制定後、18年指定管理者制度開始、第4次川西町総合計画「発見・協働・実現から「地域再生」へ、町は、町民と行政が一体となって進めていく「協働のまちづくり」を基本理念とした。地区は、関係各種団体統合し効率的な機能を有する経営母体に移行しコミュニティの活性化住みよい地域づくり推進する事を目指した。19年〜23年度「第1期小松地区まちづくり計画を基に5年間活動。21年地区公民館から交流センターへ移行。地区経営母体を「小松地区地域振興協議会」に変更。3カ年の指定管理(21年〜23年)。24年〜27年度「第2期小松地区まちづくり計画」を基に4カ年の指定管理。28年には、第5次川西町総合計画テーマ「協働」そして「共創」へ、第3期指定管理5カ年(28年〜令2)。第3期小松

地区まちづくり計画を基に5年間活動。令和4年〜8年度「第4期まちづくり計画」を基に活動しています。地域の役割は、自主自立による地域の経営。町の役割は、地区経営への支援、地域自立推進制度(財政・人的・体制)と明確になっている。設立後のメリットと課題、各種団体の整理統合。総会等が6回から1回へ。会計1元化による資金の活用。統合による会費負担の軽減。地区の課題の集約と地区計画の策定。住民アンケートが地域意識の向上。身近なサービスを住民に提供。経営母体が出来た事により地域情報の共有化可能。課題は、役員の高齢化。女性や若者の参加が少ない。定年延長により役員等の確保が難しい。少子高齢化により、各種事業への参加、取りまとめが難しい。設立迄の経緯と現在の状況を加藤会長より説明があり、行政と地域住民の信頼関係が構築されていると感じました。地域自治協議会設立への大きな足掛かりとなることとしよう。委員の皆様には、設立に向けて部会ごとの会議等も多くなりますが、ご参加頂けますようお願い致します。

令和5年度まちなか朝市(山田達也会長)は、天候にも恵まれ、多くのお客様で賑わっています。子供さん連れのお客様も見受けられます。目当ての商品を求め長い列が出来る程です。又、7時から販売に関わらず、7時前に売れ切れてしまう等のご迷惑を掛けられています。申し訳ございません。



健康増進ノルディックウォーキング7月月例会in石川が17日石川自治センターで行われた。16名が参加、「神秘の参道」をテーマに石都々古和気神社周辺約4キロコースを鈴木インストラクターに指導を受けながらウォーク。社殿では、吉田宮司より神社起源等説明を受けました。



まちなか工房、寿大学・レディース学級活動



石川自治センターまちなか工房「つくっぺ」籐手芸教室（講師 矢内文子）は、6月10日・11日の2日間、第37回ふるさと会津工人まつりに4年振りに出展した。厳しい審査を受け、全国各地からものづくり工房、工人ら160店が出店した。籐手芸教室は、昨年の工人まつり終了後から作品づくりに励み、山葡萄のバック・長財布・小銭入れ・アクセサリー等、クルミのバック他、アケビのバック他約320点を出品、販売をした。

初日は、天候に恵まれ4年振りの工人まつりを楽しむ様子が各所で見られた。販売は、制作者が自ら作業工程等を説明したり、町のPR、製作に活かすための情報収集等も合わせて行っていた。2日目は、早朝から雨に見舞われたが、来店し山葡萄

バックや財布・小物アクセサリー等を品定めするお客様も多く賑わいを見せていた。この日は、まちなか工房各教室生徒14名も各自のスキルアップの為の移動研修を行った。



皮むき作業の様子。

籐手芸教室は、20日〜21日新潟県妙高市斑尾高原へ山葡萄皮採取他移動研修を行った。教室生徒9名、ボランティア7名町役場1名他総勢18名が参加して行われた。昨年に続き三森孝浩氏に高所での伐採をして頂き無駄の無い採取活動が出来た。平成30年植栽の石川町産山葡萄1本の成長を確認する事が出来た。今後も成長を見守りたい。工人まつり出展作品の材料として使用される。

レディース外楨（水野昭子委員長）は、11日会津若松市で移動研修を10名が参加して「赤べこの絵付体験」を行った。作品は、文化祭で展示されま

す。

レディースきたす（竹島君委員長）は、8日町民グラウンドで健康増進を目的に8名が参加してグラウンドゴルフを行った。真剣さの中にも笑顔と歓声があふれ楽しく出来たようです。

レディース新田（本間浩子委員長）は、18日磐梯町かなもりファームで「藍染体験」移動研修を12名が参加して行った。かなもりさんは、東京から移住し新規就農者であり、今までの藍染とは、ちよつと違っていました。通常土間に埋め込んだ壺に藍の液体が入っています。が、ペットボトルに藍液、バケツに入れ染める工程です。トートバックに、蠟（ロウ）や輪ゴムで模様を絞り2回〜3回約2分間づつ漬け込むと藍色に変化します。約2時間で完成すると自分の作品に満足の様でした。

19日（火）石川寿大学（鈴木芳幸委員長）は、学級生28名が参加して「健康で長生きするために」をテーマに、石川町役場保健福祉課健康増進係主任保健師小原千春さんを講師に招き、長生きする為に普段の生活をする為の講義を聞いた。お口と全身の健康、特に歯周病対策。家庭引きこもり



ず社会参加をしてみる。運動は、簡単な体操で筋肉衰えを予防する。これらのことは、健康寿命を延ばす為に、今日からでも出来ます。実行してみたいかか



お花でおもてなし
24日（土）自治センターでマリーゴールド・サルビアのプランターへの植え付けを行った。

7月度行事予定*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
9	日	レディース猫啼移動研修 8:00~	福島市
13	木	レディースきたす学習会 18:00~	町民グラウンド
14	金	自治協議会準備委員会。(教育部会) 18:30	石川自治センター
18	火	石川寿大学 9:30~	石川自治センター
19	水	自治協議会準備委員会。(地域安全部会)	石川自治センター
20	木	新田寿健康大学 9:30~	新田ふれあい
21	金	自治協議会準備委員会。(まちづくり部会)	石川自治センター
26	水	自治協議会準備委員会。(福祉部会)	石川自治センター
毎週土曜日		まちなか朝市 7:00~1.8.15.22.29日です。	石川自治センター